

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成24年1月5日 (2012.1.5)

【公開番号】特開2011-229440(P2011-229440A)  
 【公開日】平成23年11月17日 (2011.11.17)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-046  
 【出願番号】特願2010-101950(P2010-101950)  
 【国際特許分類】

A 2 3 L 1/05 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

【 F I 】

A 2 3 L 1/04

A 2 3 L 1/30 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成23年9月9日 (2011.9.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

増粘多糖類を含有する 1 次原料にバインダー液を噴霧して 1 次造粒物を得る工程と、前記 1 次造粒物に前記増粘多糖類 1 0 0 質量部に対して 9 0 ~ 1 3 0 質量部 のデキストリンを被覆する工程とを有することを特徴とする増粘剤造粒物の製造方法。

【請求項 2】

前記 1 次原料が、前記増粘多糖類 1 0 0 質量部に対して 0 . 1 ~ 4 5 質量部のデキストリンを含有することを特徴とする請求項 1 に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【請求項 3】

前記 1 次原料が、前記増粘多糖類 1 0 0 質量部に対して 1 5 ~ 4 0 質量部のデキストリンを含有することを特徴とする請求項 2 に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【請求項 4】

前記増粘多糖類が、キサンタンガム、グアーガム、カラギーナン、ローカストビーンガム、アルギン酸ナトリウム、プルラン、及び C M C ナトリウム塩から選ばれる 1 種又は 2 種以上のものであることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【請求項 5】

前記 1 次原料中のデキストリンが、前記被覆するデキストリンと同一種類のデキストリンであること特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【請求項 6】

前記バインダー液が、水、又は 2 0 質量 % 以下のデキストリンを含有する水溶液であること特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【請求項 7】

前記被覆する工程が、前記 1 次造粒物にデキストリンを添加、混合して得られる 2 次原料にバインダー液を噴霧して 2 次造粒物を得る工程を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の製造方法で製造されたことを特徴とする増粘剤造

粒物。

【請求項 9】

前記増粘剤造粒物が、咀嚼・嚥下困難者向け飲食品用であることを特徴とする請求項8に記載の増粘剤造粒物。

【請求項 10】

請求項8又は請求項9に記載の増粘剤造粒物を含有することを特徴とする飲食品。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の製造方法で製造された増粘剤造粒物を使用することを特徴とする増粘多糖類の分散性を向上させる方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、上記目的を達成するために、

[1] 増粘多糖類を含有する 1 次原料にバインダー液を噴霧して 1 次造粒物を得る工程と、前記 1 次造粒物に前記増粘多糖類 100 質量部に対して 90 ~ 130 質量部 のデキストリンを被覆する工程とを有することを特徴とする増粘剤造粒物の製造方法を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明は、上記目的を達成するために、下記 [2] ~ [11] を提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

[2] 前記 1 次原料が、前記増粘多糖類 100 質量部に対して 0.1 ~ 45 質量部のデキストリンを含有することを特徴とする前記 [1] に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

[ 3 ] 前記 1 次原料が、前記増粘多糖類 1 0 0 質量部に対して 1 5 ~ 4 0 質量部のデキストリンを含有することを特徴とする前記 [ 2 ] に記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

[ 4 ] 前記増粘多糖類が、キサンタンガム、グアーガム、カラギーナン、ローカストビーンガム、アルギン酸ナトリウム、プルラン、及び C M C ナトリウム塩から選ばれる 1 種又は 2 種以上のものであることを特徴とする前記 [ 1 ] ~ [ 3 ] のいずれか 1 つに記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

[ 5 ] 前記 1 次原料中のデキストリンが、前記被覆するデキストリンと同一種類のデキストリンであること特徴とする前記 [ 1 ] ~ [ 4 ] のいずれか 1 つに記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

[ 6 ] 前記バインダー液が、水、又は 2 0 質量 % 以下のデキストリンを含有する水溶液であること特徴とする前記 [ 1 ] ~ [ 5 ] のいずれか 1 つに記載の増粘剤造粒物の製造方法。

[ 7 ] 前記被覆する工程が、前記 1 次造粒物にデキストリンを添加、混合して得られる 2 次原料にバインダー液を噴霧して 2 次造粒物を得る工程を含むことを特徴とする前記 [ 1 ] ~ [ 6 ] のいずれか 1 つに記載の増粘剤造粒物の製造方法。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

[ 8 ] 前記 [ 1 ] ~ [ 7 ] のいずれか 1 つに記載の製造方法で製造されたことを特徴とする増粘剤造粒物。

## 【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

[ 9 ] 前記増粘剤造粒物が、咀嚼・嚥下困難者向け飲食品用であることを特徴とする前記

[ 8 ] に記載の増粘剤造粒物。

## 【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

[ 1 0 ] 前記 [ 8 ] 又は前記 [ 9 ] に記載の増粘剤造粒物を含有することを特徴とする飲食品。

## 【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

[ 1 1 ] 前記 [ 1 ] ~ [ 7 ] のいずれか 1 つに記載の製造方法で製造された増粘剤造粒物を使用することを特徴とする増粘多糖類の分散性を向上させる方法。